



令和7年7月1日  
目黒区立目黒本町保育園園長

「これカナブンの幼虫じゃない」「葉っぱの後ろに青虫がいた」など幼児クラスから虫の発見に歓喜の声が聞こえます。園庭にビオトープを作ったり、みかんの木を置いたり虫を呼ぶ大作戦をしています。なかなか思い通りに集まらないので虫を探す時の集中力、見つかった時の喜びは相当なものです。捕まえた虫を数人で囲み代わる代わる触って楽しんでます。先日林試の森公園に散歩に行った4歳児クラスの子どもたちが園庭では捕まえられない数のダンゴムシを捕まえて戻ってきました。すぐに自分の箱を作ってダンゴムシを入れてあります。とても嬉しそうにしていたのも束の間、別の遊びが始まっていました。5歳児クラスは一生懸命見つけた虫を飼育箱に入れると虫の動きを目で追いながら「この模様はななほしてんとう虫じゃない、図鑑で見た」と友達と話したり、青虫がさなぎ、蝶になるのを何日も楽しみにして、羽化した蝶に砂糖水をあげたりしていました。虫を捕まえることで満足の4歳児が身近なことに興味を持ち、触れたり、考えたりしてきた経験を通して、生き物に愛着を持って大切に関わる5歳児の姿が変わっていきます。系統だてた保育を大切にしていきたいと思えます。

今年度は通年より2週間早くプール開きを行いました。近年暑さ指数が高く、プール遊びや水遊びを十分にできない現状が続いています。期間を長く設ける中で、気候や気温に注意を払い出来るだけたくさん水、プール遊びが出来るようにしていきたいと思えます。健康チェック、タオル等の準備のご協力よろしくお願ひいたします。



### 行事予定

夏まつり	全園児
七夕	3. 4. 5歳児
笹焼き	3. 4. 5歳児
中旬	身体計測・避難訓練 全園児

### 保健室より

- ◎虫よけ対策について  
暑くなり、蚊が飛び始める季節になりました。虫刺されが気になるお子さんは、ご家庭で虫よけスプレーをしたり薄手の長袖の着用をお願いします。
- ◎暑さ指数について  
園では熱中症対策として、気温や暑さ指数を参考にして戸外遊び・水遊びの可否の判断をしています。



## ゴミラスくんが保育園に来たよ

清掃局の方を呼んで環境教室を行いました。

清掃局の方がゴミの分別クイズを始めると、3歳児クラスの子どもたちは全ての問いに「はい」と大きな声で手を挙げて、これから何が始まるか期待に満ちた様子です。ゴミラスくんとクリンくんが登場すると着ぐるみにドキっとした表情を一瞬しましたが「お腹にゴミが入ってる」「クリンくんごみ箱だ」と可愛いマスコットキャラクターにくぎ付けです。4歳児クラスの子どもたちは、資源はゴミではなく生まれ変わるものということに興味津々で、缶は新幹線に、ペットボトルは洋服になるという話を聞くと、自分の服を見ながら「この服もペットボトルでできてるんじゃない」と、知った知識を友達に伝えていました。昨年のことを覚えていて“それ知ってるよ”と得意げな表情で話を聞いていた5歳児クラスの子どもたちは、ゴミを食べるゴミラスくんの

「これはまだ使えるから食べないよ」という言葉をよく覚えていて、後日絵を描いたりハサミで切ったりした紙を少し見つめ「まだ使えるな」とつぶやいて自分のかごに戻していました。それぞれの年齢で印象に残ること、理解したことは違いますが、少しずつ物を大切に扱う気持ちが育ってほしいと思えます。





# 大好きな遊び ～先生と遊ぶの楽しいな～



## ひよこ組（0歳児）

### 『 ばあ 』

トンネルの小窓から保育士が「ばあ」と顔を出すと、少し離れたところからじっと見る子がいました。保育士がもう一度隠れると“先生でてくるかな”と期待するようにトンネルを見ていて「いないいない、ばあっ」と元気よく保育士が顔を出すと“先生いた”と喜び「きゃっきゃっきゃっ」と声を上げ笑っています。次は自分というようにトンネルの中に入ったので「いないなあどこかな」と保育士が外から声をかけると“ここだよ”と小窓から笑顔を見せていました。保育士と友達の楽しそうな笑い声を聞いて他の子もそばに来て、表情豊かに保育士が関わることで“楽しい”を共有しています。



## りす組（1歳児）

### 『 もっかい（もう一回） 』

積み木を高く積み重ねて遊んでいると積み木がグラグラと揺れ始め保育士が思わず「わわわっ」と声を上げた反応が面白くて、ニヤッといたずら気に笑って、両手で思い切り積み木を崩しました。保育士がおおげさに驚いて見せると、その表情が楽しくて人差し指を出し「もっかい」と保育士にアピールしています。指先に力を入れてそっと積み木を上に乗せては、重ねた積み木を勢いよく崩しながら、保育士とのやりとりを楽しんでいます。“もういっかい”の声や仕草に答え、子どもたちの楽しい気持ちを満たしていきます。



## うさぎ組（2歳児）

### 『 同じ空間の中で 』

一人の子がパック積み木を並べ自分の囲いを作ると近くにいた子たちも次々に囲いの中に入ります。友達と並んで座っていると、一人の子が何かひらめいたようにフープを持ってきて「バスでーす」と言い、ハンドルのように動かしながら「ぶっぶー」とクラクションの音を鳴らしています。その言葉を聞いて、隣に座っていた子も「ここは飛行機だよ」と積み木を付けたし飛行機の翼のようにしてみます。自分の乗っていた乗り物の特徴を覚えていたようです。「ついた」と一人の子が出ていくと、一緒に乗っていた子どもたちも次々に乗り物を降り、自分の行きたい場所に出かけて行きました。日々の経験の中から乗り物というイメージを持って、保育士や友達と一緒に過ごすことを楽しんでいます。

